

ふ の と り



町花：山百合

議会だより

12月定例会 No.146
平成31年1月18日

可決した条例・議案等	2
全員協議会	6
一般質問：平成31年度主要事業など7議員が13問...	7
みんなのページ：ハケ久保、薄木の獅子舞	16



サンタさんがプレゼント
を持ってきてくれたよ！
(こども園)

議案等



メリットがあると
考えられる主な事業



12月定例会は14日から20日まで、7日間の会期で開催されました。古殿町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例を始め、郡山市と古殿町との

議案 郡山市と古殿町との連携中枢都市圏形成に係る
審議 連携協約の締結に関する協議について

郡山市および古殿町が連携することで人口減少・少子高齢社会にあっても、活力ある地域経済を維持するとともに住民が安心して快適な暮らしを営むことができる圏域の形成を目的としています。

連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議についてなど、13議案が原案の通り可決され、20日に閉会しました。

Q 単に郡山市と連携すればそれで済むのか。

A 郡山市を中心として広域的な取り組みを模索しながら、連携を図っていきます。私たち自身の取り組みを考えながら協力をもらっていくような想定です。

型にはまったものでなくても、情報交換という場も必要であると思います。

Q 地理的に郡山市との間に多くの市町村が入っている中で、連携協約は古殿町のためになるのか。

A 総務省が制定した要綱では、経済的結びつきが強い、通勤通学割合が0.1以上であるすべての市町村と協約締結の協議をすることが望ましいとしています。今回は1対1の締結なので古殿町のメリットになる事業を選択して取り組みます。

討論

反対

岡部淳一 議員

古殿町も安心で活力が出てくること
が私にはイメージできません。形を変えた市町村合併に一步踏み出すようなものではないかと危惧するものであり
現時点で拙速にこのような協約を結ぶ
ことには反対いたします。

賛成

緑川栄一 議員

地域の中枢都市である郡山市と近隣
市町村と1対1の協約に基づき、各市
町村が目指すまちづくりの実現に向け
て取り組むものであり、連携中枢都市
圏参加によるデメリットはないと考え
賛成します。

採決

賛成 10
反対 1

可決

可決した条例

議案 古殿町消防団設置等に関する
審議 条例の一部を改正する条例

機能別消防団員制度を導入し、消防団員を引退された方などで、主に日中の火災または災害時に初期消火活動や後方支援にあたる機能別消防団員の定員を30人とする。

質疑

Q 団員の募集は公募か推薦どちらになるのか。

A 分団長や部長等の役員が、その地域の方を推薦する形になります。

Q 定員が30人なので、1分団10人程度の想定か。

A 1分団あたり10人、1部3人程度を想定しています。

Q 夜間の火災には出動しないのか。

A 消防力の弱い日中の火災に限定して出動していただく考えです。

Q 募集に関して、年齢や消防団員の経験年数の制限はあるのか。

A 団員経験が5年以上70歳未満の方で、平日の日中すぐに出勤できる地域の自営業の方などを想定しています。

採決 全員賛成

可決

議案 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用
審議 弁償に関する条例の一部を改正する条例

県人事委員会勧告に準じ、議会議員の期末手当の支給割合を0.05月分引き上げて100分の315とするもの。

討論

反対 岡部淳一 議員

厚生労働省の発表では、全労働者の実質賃金は平成29年度まで7年連続減少しています。町内における賃金実態も国が言う景気回復とはほど遠いものがあると思いますので、この条例改正に反対します。

賛成 緑川栄一 議員

本条例の改正につきましても、民間企業の給与等の状況を踏まえ、引き上げ分を期末手当に配分するもので、これまでも県人事委員会勧告に準じて実施していることから賛成します。

採決 賛成10

反対 1

可決

議案 町長等の給与に関する条例の
審議 一部を改正する条例

県人事委員会勧告に準じ、町長の期末手当の支給割合を0.05月分引き上げて100分の330とするもの。

討論

反対 岡部淳一 議員

県人事委員会勧告に従うものであっても、好景気だと報道されておりますが、まったくそういう実感が無いのが町における状況かと思えますので、引き上げない方がいいとして反対します。

賛成 緑川栄一 議員

県人事委員会勧告に準じ、民間企業の支給状況等を踏まえたものであり、給与等の改正についてはこれまでも県人事委員会勧告に沿って実施していることから賛成します。

採決 賛成10

反対 1

可決

その他可決された主な補正予算・条例等

議案
審議

一般会計第3次補正予算

歳入歳出それぞれ1億147万円を増額し、総額を45億4010万円とするもの。

歳出では小学校、中学校および女性若者等活動促進施設におけるエアコン整備工事費等1億1180万円などの増加が主なもので、歳入ではその財源としてブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金1558万円緊急防災・減災事業債4230万円学校教育施設等整備事業債4730万円などの増が主なものです。

質疑

Q 国庫補助金の「ブロック塀・冷房設備対応交付金」とありますが、町の公共施設でブロック塀の調査はしたか。

A 学校と通学路のブロック塀調査をしており、学校施設にブロック塀はなく、通学路でも危険なブロック塀はありませんでした。

採決
全員賛成

可決

議案
審議

地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例

事業者が計画を作成して県の認定を受けたうえで、本社機能を持つ特定業務施設を東京23区から移転するか、認定区域内で特定業務施設を拡充整備した場合に、固定資産税の課税免除、または不均一課税によって事業者の税負担の軽減を図ります。

条例の
ポイント

東京23区から古殿町に本社機能を移したり古殿町の本社機能を拡充したりすると、固定資産税が軽減されるんだね。



採決
全員賛成

可決

議会傍聴規則を改正する議員発議

◎ 「古殿町議会傍聴規則の一部を改正する規則」

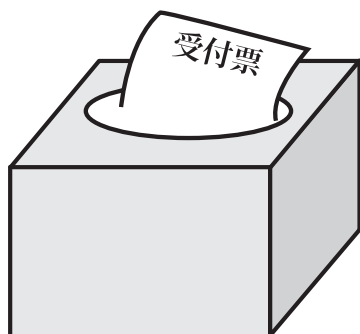
発議者 緑川栄一 議員

ほか一名

個人情報保護の観点から、現行の傍聴人受付簿ではなく、傍聴人受付票に改正するもの。

採決
全員賛成

可決



次回の議会から傍聴者は受付票に必要事項を記入し、箱に入れていただくこととなります。

常任委員会の活動

総務常任委員会



解体予定の町民第2体育館

総務常任委員会は鮫川村の鹿角平観光牧場、鹿角平天文台を視察し、運営状況などの説明を受けました。
また、町民第2体育館、旧鎌田小学校資料館と旧古殿保育所跡地を現地視察しました。

産業建設常任委員会



コスモス荘での意見交換

産業建設常任委員会は町民第2体育館、旧鎌田小学校資料館、旧古殿保育所跡地、コスモス荘、大久田ふれあいセンターを現地視察しました。
現地視察後、視察箇所について意見交換をしました。

全 員 協 議 会

郡山市と古殿町との連携などについて協議

こおりやま広域圏構成自治体（4市7町4村）

〔構成〕 郡山市（中心市）、須賀川市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、天栄村、猪苗代町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

〔人口〕 約59万人（福島県の約3割）

〔面積〕 約2,968km²（福島県の約2割）

〔将来展望の実現、圏域人口の維持、地域経済の活性化〕を指します

11月30日

11月30日に行われた議会全員協議会では、産業、福祉、交通などの様々な分野で連携し取り組んでいく「こおりやま広域圏」についての説明がありました。

また、旧古殿保育所敷地及び竹貫区民広場敷地の活用について協議し、宅地の分譲や高齢者居住施設についての意見が交わされました。

最後に人事委員会の勧告による給与等の改定が報告されました。

ポイント

郡山市と各市町村が1対1で協約を結ぶんだね。



旧古殿保育所敷地等の利活用などについて協議

12月14日

12月14日は引き続き旧古殿保育所敷地及び竹貫区民広場敷地の活用について協議し、宅地の分譲や高齢者居住施設の方向性について話し合いが持たれました。

また、コスモス荘の整備に向けた基本設計など現在の進捗状況を確認しました。



活用が望まれる旧古殿保育所跡地



一般質問は、12月19日に7人の議員が13問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをたどす

一般質問

町政を質す

野崎 喜彦 議員 8

- (1) 特産物の生産と農産物のブランド化について
- (2) 森林伐採に伴う安全対策について
- (3) 平成30年度の行政評価と31年度の主要事業について

佐川 勇司 議員 9

- (1) 4期目の町政運営と今後について

緑川 栄一 議員 10

- (1) 古殿町産業振興策は

佐藤 弘信 議員 11

- (1) 平成31年度の予算編成について
- (2) 住宅用火災警報器の設置について

木戸 久康 議員 12

- (1) 過去の事業成果と平成31年度事業内容について

藁谷 直吉 議員 13

- (1) 町の活性化対策について
- (2) 町の資源を観光化について

岡部 淳一 議員 14

- (1) 町振興計画最終年度までの評価と今後のまちづくり
- (2) 農業意欲をこれ以上減退させないための施策とは
- (3) 議会での質問や寄せられた町民の声への検討結果は



のざき よしひこ 議員
野崎 喜彦

特産物の生産と農産物のブランド化を

J-GAP取得を目指している

町長

当町の基幹産業である農業は、担い手不足、従事者の高齢化などの傾向から大変厳しい経営環境下にあります。

こうした中において、TPP11協定が12月30日に発効されます。

これにより、農業分野では、今後、関税の段階的撤廃により自由化が深化し、多くの農産品が厳しい国際競争を強いられることから、農業政策も新たな視点に立った政策を推進しなければなりません。

更に、台湾の住民投票で福島第一原発事故から続いている福島県産などの食品に対する輸入禁止措置が今後2年は継続されるという結果になりました。

野崎 大豆の生産量と「大豆ミート」の販売実績は。

町長 大豆の生産量は、28年2.6トン、29年4トンで、30年は調整中です。大豆ミートは29年からの販売開始で、売上げ623kg、販売金額125万5398円。30年が

生産量1260kgで、11月末現在234kgを売上げ、販売金額33万5264円です。

野崎 農産物国際規格の第三者認定「グローバルGAP」取得の考えは。

町長 ミニトマト生産農家で、J-GAPの取得を目指しています。

野崎 農業従事者の所得向上への取り組みは。



J-GAP取得で消費拡大が期待されるミニトマト（仙石のハウス）

町長 設備投資費用の一部補助、振興作物の推進や営農指導などに取り組んでいます。

森林伐採に伴う安全対策は

災害時の残材流出の被害軽減に努める

町長

今年、7月の四国・

関西地方を中心とする「西日本豪雨」や「北海道胆振東部地震」により

土砂崩れや大洪水・河川の氾濫・家屋の倒壊・甚大な被害が発生するなど異常な気象状態に起因する大規模災害が日本列島全域で発生しています。

こうした中、当町では森林の伐採がつかっていない

規模で行われていますが伐採・搬出が終了した現場（田口松森地内）で、

9月に崖崩れの発生によって、河川が堰き止められ、田んぼに水が流入し、土手が決壊するという災害が発生しております。

野崎 今年、町内で伐採された森林（特に杉材）の総面積、数量は。

今年、町内で伐採された森林（特に杉材）の総面積、数量は。



土砂崩れを起こし、残材流出が心配される杉の伐採現場（田口松森地内）

町長 年間1000から200ヘクタールの杉の伐採があります。数量は29年度1万5000m³。町と国有林の分収造林は今年約36ヘクタール伐採しました。

野崎 森林伐採後の土砂崩れなどの事案は把握しているか。

町長 道路への倒木や、のり面崩れ等は把握しています。

野崎 残材の流出対策と材木搬出道の崖崩れ防止の対策と指導は。

町長 災害時の残材流出による被害の低減に努めております。

野崎 大型材木運搬車両の往来により、生活道路の通行に支障があるとの苦情があるが、把握しているか。また、その解消策は。

町長 把握しています。住民への説明と配慮のもと作業を行うよう指導します。

※GAPとは
農業において、食品安全環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのこと。これを取り入れることにより、持続可能性の確保、競争力の強化、品質の向上につながり、消費者の信頼確保が期待される。

その他の質問

・「30年度の行政評価と31年度の主要事業について」の質問も行いました。

町長の任期もあと少しとなりましたが、4期目の4年間においては、赤ちゃん誕生祝金を始めとする子育て支援、移住定住促進事業と福祉の充実各町道・国道道の整備、防災行政無線のデジタル化など生活環境の整備、森林再生事業、戦略的産地づくり総合支援事業などの地場産業の振興・住民参加によるまちづくりそして町公民館改修工事・町民体育館建設工事



町公民館で行われた読み聞かせ会あのねの紙芝居



さ がわ ゆうじ 議員
佐川 勇司

5期目の町長選出馬の考えは

引き続き町発展に向けた

諸問題に取り組む

町長

と体育館開館記念事業の教育・交流環境の整備など、さまざまな分野で町民生活を第一に考えた多くの事業に、積極的に取り組んで来たと思います。そこで、4期目の任期満了も近づいていることから、次の点を伺います。

佐川 一点目、4期16年の町政運営を踏まえ、今後の課題は何か。

二点目、4期目で、任期中に実現できなかった政策についてどう考えるか。

三点目、5期目の町長選出馬の考えは。

町長 「子育て支援と福祉の充実」「生活基盤の整備」「地場産業の振興」「住民参加による協働のまちづくり」「教育・交流環境の整備」の五つの柱を深化させ、農林業をはじめとした地場産業の振興を中心に、若者の定住促進、人口の定着化を

図るとともに、高齢化社会への対策を、しっかりと講じていく必要があると考えます。

先日、後援会から5期目に向けた出馬要請を受けたところであり、私としては、この要請を重く受け止め、進退について熟慮してまいりました。

町民の皆様が夢や希望を持ちそれを実感できる町にする決意のもと、町民の皆様のご信任をいただけるならば、引き続き、町政を担わせていただき町の発展に向けた諸問題の解決に全力で取り組んでまいります。



やぶさめアリーナで行われた小学生のドッチビー大会



みどりかわ 緑川 えいいち 議員

古殿町の産業振興策は

自然の恵みを生かした産業づくり

町長

古殿町の基幹産業は、昭和二十年代より林業・養蚕・葉タバコを中心とした第一次産業が基幹で三十年代より製材業や商業が増加し、五十年代は工場誘致により人口減少も抑制されました。六十年代以降は、木材・米・コンニャク等の下落により第一次産業が衰退し遊休農地が増加し、山際地区の人口減少が進んでおります。そこで次の点について伺えます。

緑川 古殿町の産業振興計画は。

町長 町第6次振興計画において、自然の恵みを生かした産業づくりプロジェクト、一、活力あふれる農林業の振興、二、魅力ある商工業・観光の振興とし、基本計画の中で、農業の振興、林業の振興と自然保護対策、新エネルギー導入の推進、商業の振興、工業の振興交流を促進する観光の振興、その内容に沿った形で施策を展開しております。



6次化産品として開発が期待されるミニトマト

緑川 6次化産品の開発計画は。

町長 現在、ミニトマトなどの農業生産物のうち規格外品等を乾燥させ、チップやパウダーにする取り組みを試験的に行っております。

緑川 古殿町の観光資源創生計画は。

町長 観光資源の有効活用と観光PRや情報発信

を展開し、域外からの人口流入を図ることとしております。また、交流人口を拡大させるための勉強会を開催し、関係する方々と協働しながら、地域に存在する魅力に磨きをかけ、SNS等を利用して情報発信に努め、観光客の増加を図ってまいります。



豊かな自然を生かしたまちづくりを

緑川 ふるさと納税の寄付状況は。

町長 今年度のふるさと納税に係る寄付の状況は11月末現在62件、140万円となっております。

緑川 道の駅の来客者および売上は。

町長 平成27年度からの3年間では、売上、来客者数ともに前年度に比べ

増加し、平成29年度は売上合計で過去最高の約一億4200万円、来客者数についてはレジ通過者数で、震災前とほぼ同じ約9万4千人となっております。

また、今年度についても、11月末現在、売上、来客者数ともに前年同期と比べ上回っており、順調に推移しております。



さとう ひろのぶ 議員
佐藤 弘信

新年度の予算編成方針は

第6次振興計画に基づき編成します

町長

平成31年度の予算編成には、町民の皆さんも大変注目しております。

町民の暮らしを直接左右する大きな性格を持っています。国の厳しい財政状況の中、交付金に頼る状況を考えれば厳しい予算編成になることも予想されます。

町の振興に当たっては、第6次振興計画に基づき施策が実行されていくと思います。町民の福祉の向上、生活基盤の整備、財源の確保等予算編成に對しての基本方針、重要

施策を伺います。

佐藤 新年度の予算編成に對する基本方針は何か。

町長 第6次振興計画に基づき基本理念と地方創生の実現を目指すことを基本方針とします。

佐藤 財源の確保には、どのような見通しを持っているか。

町長 国・県の予算編成の動向を注視するとともに、地方債については地方交付税措置がある有利な起債の活用などを積極的に図り、財源の確保に努めます。



分譲地が計画される旧保育所跡地

佐藤 既存の事業に對しての評価はどのように行われているか。

町長 事業の必要性・効果性・妥当性・効率性などについて、チェックしていますが現在、より効果的な評価の方法を検討しています。

佐藤 町民の要望をくみ上げ、どのように予算に反映していくのか。

町長 担当課で確認し、事業効果・公平性・財源の確保などを総合的に判断し、必要に応じ予算に反映します。

佐藤 第6次振興計画をどのように反映するのか。

町長 第6次振興計画と予算要求の内容を付き合わせ、たうで反映していきます。

佐藤 新年度の重点施策は何か。

町長 活力ある地域経済を維持できるとともに、住民が安心して暮らすことのできる施策に取り組みます。平成31年度は、コスモス荘の建築や分譲地の造成などに力を入れて取り組んでいきます。

火災警報器の設置促進は

設置の周知を徹底します

町長

火災が発生しやすい季節になってきた矢先、県内において痛ましい火災が発生し、多くの尊い生命が奪われました。消防法で火災警報器の設置が義務づけられていますが、県内では全国ワースト5の74.6%の設置率であります。

町長 70%以上の設置率となっております。

佐藤 高齢者一人暮らしの世帯に助成できないか。

町長 町の制度で対象になっております。

佐藤 今後設置に向けての対策はどのようなものになるか。

町長 わかりやすいチラシを配布するなど周知徹底に努め、制度を活用しての設置を促進します。

佐藤 町内の火災警報器の設置率はどのようになっているか。

町長



設置義務化されている火災警報器



きど ひさやす 議員
木戸 久康

過去の事業成果と
平成31年度事業内容は

人口減少、少子高齢化対策
に重点をおきます

町長

木戸 旧大久田小の仮校舎はどうするの。

町長 平成10年度の大久田小改築工事の際に建てたものですが、工事以後は区民の方々が活用しており、現在では消防団の屯所および大久田地区公民館の備品等を保管しています。今後の施設の活用、在り方等は区長など代表者の方々と協議してまいりたいと考えております。

木戸 旧論田小学校と敷地は現在どのような状況か。

町長 旧論田小学校の活用は、民間事業者から広く意見、提案を求めるサウンディングなども行っていますが、具体的な活用までには至らない状況であります。

木戸 流鏝馬用厩舎の活用を今後どう進めるの。

町長 例大祭で使用する馬を、一時的に飼育する



有効な活用が望まれる厩舎

等の使い道もあるとの見解がありますが、引き続き、流鏝馬保存会等と協議を進めてまいります。

木戸 旧大原小跡地の木材乾燥施設の現在の稼働状況は。

町長 今年度は12月末までの見込みで、乾燥機が延べ18週間、どぶ漬けプールが2週間であり、今後も使用予定が入っております。

木戸 平成31年度は何を一番重要と考えて予算を編成するのか。

町長 現在、各課において予算要求作業が進められておりますので、その内容を確認しながら人口減少、少子高齢化対策に重点をおいた、具体的な予算編成をしてまいります。

木戸 社会福祉協議会施設（コスモス荘）の進捗状況は。



来年度に改築予定のコスモス荘

町長 先月までに基本設計が完了し、現在、実施設計を進めており、新年度には本体工事を発注する方向で作業を進めていくところです。

木戸 老人居住施設（高齢者居住施設）の進捗状況は。

町長 高齢者居住交流施設の整備とあわせ、認知症ケアの側面も考慮しつつ、グループホームと一体

的な整備・運営を進めたいと考えており、候補地は町有地の活用を前提に、鎌田の町民第2体育館周辺を候補地の一つとして、皆様と検討してまいります。

木戸 旧保育所跡地の活用はどう考えているの。

町長 宅地分譲地として整備を行う計画であります。



わらがや 直吉 議員

図書館にバーコードシステムを導入し貸出管理する考えは

導入する効果が少ないと考えております

教育長

町も、超少子、高齢社会に入り、農家人口の減少、耕作放棄地の増加、空き家、空き店舗の増加に拍車がかかり、伝統行事なども継承していくのが困難になり、消滅が危惧されます。

人口減少しても、町民が安心して暮らし、都会と同じような行政サービスの向上を図る必要があります。

そのために、子どもから高齢者までが楽しめる

図書館の充実と、魅力ある「まちづくり」をする必要があります。次の点について伺います。

藁谷 図書館に、パソコンによるバーコードシステムを導入し、貸出管理する考えは。

教育長 現在の図書館の規模では、導入に対する効果が少ないと考えております。

藁谷 町公民館の正面出入りに公民館と図書館の名前を表示していない

が。

教育長 東側出入りに設置すべく業者と打合わせを進めているところで

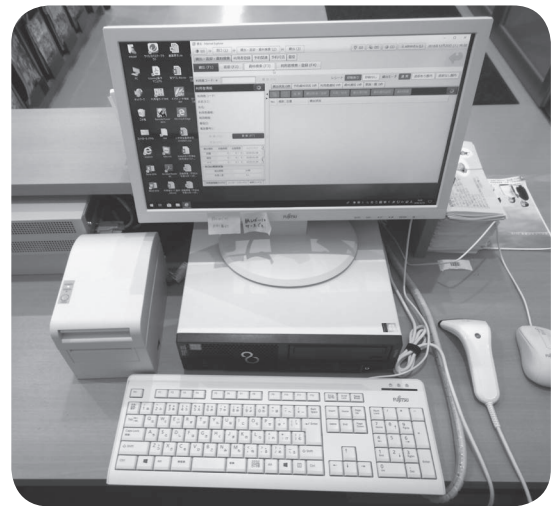
藁谷 図書館の土日開館した実績と今後はどんな方針でいくのか。

教育長 52日にわたり開館した結果、408人の来館で、330冊を貸出して

しております。これまでの実績や費用面も含めて検討しているところです。

藁谷 中学校の図書を、町の図書館で貸出する考えは。

教育長 町の図書館では



図書のバーコード管理ができるシステム

図書リクエストを実施していることから、中学校の図書について貸出しを行わなくとも十分ではないかと考えております。

藁谷 図書カードをキャッシュカードのように小さくする考えは。

教育長 来年度から実施すべく検討しているところです。

藁谷 図書館に、新聞、雑誌や週刊誌など閲覧する考えは。

教育長 利用者のニーズ公序良俗に反しない等を見極め検討してまいりたいと考えております。

煙だしの古民家を観光化する考えは

個人の所有物であるため難しさがあります

町長

町に眠っている町財産と観光資源を掘り起こし町民のサービス向上と観光を促進し、交流人口を拡大して活性化する「まちづくり」をする必要があります。次の点について伺います。

藁谷 山上地区の溪流と煙だしの古民家を観光化する考えは。

町長 山上地区は地域の景観に寄与しておりますが、煙だし古民家は個人の所有物であるため難しさがあります。

藁谷 老朽した町の道路案内表示板を撤去し、新たな案内表示板を設置する考えは。

町長 現地精査したうえで対応を検討したいと考えております。



観光資源として貴重な煙だしの古民家



おかべ じゅんいち 議員
岡部 淳一

町振興計画最終年度までの評価と今後のまちづくりは

魅力あふれるまちづくりと考えます

町長

第6次振興計画最終年

度に入り、一番顕著になっ
たのは少子高齢化ではな
いでしょうか。計画の到
達点、評価、今後の課題
を考えながら現時点で何
をすべきなのか、考え方
と姿勢を伺います。

岡部 この十年間の状況
変化をどう捉えているか。

町長 平成17年と27年を
比較すると、20歳未満人
口が約31%減少し、75歳
以上が約16%増加し、少
子高齢化が顕著だと捉え
ています。

岡部 振興計画当初の見

通しと違った事は何か。

町長 東日本大震災とそ
れに伴う東京電力福島第
一原発の放射能事故が、
農林業・商業・観光の各
計画に影響を与えました。
岡部 今後のまちづくり
は何を指すべきか。

町長 町民の皆さんが
「住んでよかった」、町外
の方に「住んでみたい」
と思われる「魅力あふれ
るまちづくり」と考えま
す。

岡部 十年スパンの計画
ではなく、より短い計画
と評価に変えるつもりは。



平成31年度までの第6次振興計画書

町長 現在、第7次振興

計画に取り組んでおり、
基本計画は5年、実施計
画は必要に応じ評価と見
直しを行いたいと考えま
す。

岡部 石川郡内として、
何を広域的に取り組むの
か。

町長 「こおりやま広域
圏」も視野に入れ、フル
セットでなく、農・商業
医療・防災等、住民サー
ビスの向上を図ります。

岡部 働く場はあるが勤
める人がいない状況には
どう取り組むのか。

町長 ホームページで情
報発信しているが、さら
なる取り組みを考えます。

農業意欲をこれ以上減退さ
せないための施策とは

若年層の就農対策や農地の
規模拡大の取り組みが必要

町長

町における農業、農家
の実態は大きく変わろう
としています。山あい、
沢すじの田畑は荒地を通
り越し再耕作が出来ない
状況も見受けられる現況
です。

「後継ぎがない」「農
機具の更新ができない」
などにより、農業への意
欲が減退しています。当
面の課題を伺います。

岡部 専業・兼業の後継
者問題および農機具更新
の実態調査は行っている
のか。

町長 平成28年度に認定
農業者等に後継者アン
ケート調査を行い、基礎
データとして活用してい
ますが、町全体での調査
は行っておりません。

岡部 兼業農家への支援
策は何か行われているの
か。

町長 中山間地域等直接
支払交付金、多面的機能
支払交付金、水田転作作
物への交付金等です。

岡部 町農業および農家
形態における課題と取り
組みについての考えは。

町長 平成27年農林業セ
ンサスによると、農家
651戸の農業就業人口



たくさんの農作物が並ぶ道の駅

の平均年齢が70・1歳で
あり、一農家当たりの平
均作付面積が水稲53・1
アール、野菜13アールと
狭小であることから、若
年層の就農対策、農地の
集積等による規模拡大の
取り組みが必要であると
考えています。

その他の質問

「議会での質問や
寄せられた町民
の声への検討結果
は」

の質問も行いました。

No.44

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ 住宅建設支援事業

Q 平成28年12月一般質問から

人口減少対策として、新築およびリフォームなどにおいて町の助成金制度は。

A 町長答弁

町産材を利用した場合、新築で50万円、増築では20万円、擁壁設置の必要性がある場合は200万円を限度に助成しています。

また、若者定住促進に向けて、住宅の新築、中古家屋の取得やリフォームに関する新たな支援制度について検討します。



住宅建設が進む町内

その後の
対応

平成29年度より町外から移住を目的に住宅を取得する子育て世帯や若者世帯の方に補助金を交付します

○基本補助金

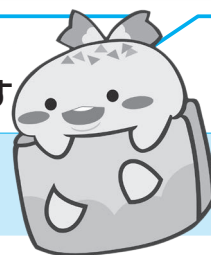
- ・新築住宅又は建売住宅：100万円
- ・中古住宅：50万円

○加算補助金

- ・住宅用地購入加算：25万円
- ・町内建設業者建築加算：10万円
- ・子育て世帯加算：10万円／人（最大3人まで）

※義務教育が未修了の子どもを養育している場合に加算します

お家を建てる前に、対象となるかどうか町役場内地域整備課に相談してください！



しみもっちー

平成27年の中学生議会で提案されて誕生した「凍み餅」のキャラクター

○現在、町産材を利用した場合、新築50万円、増改築30万円、擁壁設置は200万円の助成です。

No.37

今回紹介するのは、

八ヶ久保、薄木の獅子舞です。

*八ヶ久保、薄木の獅子舞とは

「八ヶ久保、薄木の獅子舞」は、八ヶ久保北向にある湯殿山神社に氏子が奉納する獅子舞で、古来より「八ヶ久保のささら」と呼ばれてきました。

祭礼日は、10月の第1日曜日が本祭りとなっており、湯殿山神社境内から、八ヶ久保北向の熊野神社社前、旧世話人宿、新世話人宿で獅子舞の奉納が行われます。

湯殿山神社は、天正年間、豊臣秀吉に抗してかなわず、小田原の落城とともに逃れ来た佐川但馬之守が居城の守護神を移し祀ったものです。

八ヶ久保・薄木の氏子は、古来より「ささら」を子どもたちが古典豊かに演じ、八ヶ久保上、八ヶ久保中、薄木の三集落の隣保班長が祭礼委員となり、互選にて祭礼委員長が選ばれ、祭礼が執り行われます。



本祭りで獅子舞を奉納された皆さん



本祭りの様子

*今後の活動目標は

獅子舞は、三集落の男子3名が演じ、ほかに、女子4名が花笠として獅子舞に花を添えます。

しかし、近年の少子化により、踊り手を確保するのが重要な課題となってきております。獅子を踊る男子については、あと数年は確保できる見込みはありますが、花笠となる女子が少なくなっており、今後が心配される状況です。

しかし、長年の間受け継がれてきている「八ヶ久保、薄木の獅子舞」を、できる限り、少しでも長く後世に伝えていきたいと考えております。

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

3月 上旬

古殿町のホームページからご覧いただけます。

[古殿町](#) [検索](#) ➔ [町議会へ](#)